

緑と水の環境技術革命総合戦略の概要

農林水産業・農山漁村に存在する豊富な資源と他産業の持つ革新的技術との融合により、素材・エネルギー・医薬品等の分野で農山漁村地域における6兆円規模の新産業創出に貢献

基本的方針

農山漁村活性化効果、市場創出効果、早期の産業創出可能性を踏まえて重点分野を選定し、戦略的・集中的に投資を実施。

重点分野選定の考え方

農山漁村の活性化【所得と雇用の創出】

農林水産物やバイオマス等の供給、新たな業態の創出等による雇用と所得の創出

新たな市場の創造【市場規模】

一定規模以上の新たな市場の創造

早期の産業創出可能性【スピード・確実性】

技術の優位性・完成度等

重点分野の選定

重点的に取り組むべき分野を明確化

農山漁村資源の新規用途開拓

新たな素材や新商品の事業化

- 未利用バイオマスのエネルギー・製品利用
- 藻類等の新規資源作物の利用
- 生物機能の高度利用

農林水産業の新たな事業機会の創出

生産・流通・販売等の工程への革新的技術の導入

- クロマグロ等の完全養殖
- 農林水産物の高度生産管理システム
- 超長期鮮度保持技術

産業化に向けた障壁の解消



客観性と実効性の確保

技術・市場・金融等の分野の有識者の意見を踏まえつつ、総合戦略を策定

課題解決・事業化促進への提案

重点的・効率的な支援

- 事業化共同体(コンソーシアム)の組織化
- コーディネーター等の育成
- 事業化に至るまでの切れ目無い支援(制度資金、調査・実証事業等)
- 新産業創出に向けた研究開発の推進

6兆円産業の創出

持続可能な農林水産業・農山漁村の実現

「緑と水の環境技術革命総合戦略」で推進する重点分野

農山漁村資源の新規用途開拓

農林水産物、バイオマスなどの農山漁村の資源を活用した、新たな素材、新商品の開拓。

未利用バイオマスのエネルギー・製品利用

林地残材、稲わら、さとうきび残渣、余剰てん菜等、**食料供給と両立するバイオマスのエネルギー・製品利用**。併せて、バイオマス以外の再生可能エネルギーを総合的に利用。



藻類等の新規資源作物の利用

他の作物と比較して繁殖速度が圧倒的に早く、**日本が技術的蓄積を有する藻類等**について、燃料、飼料、及び水質浄化等の多様な分野における利用。



生物機能の高度利用

生物由来の**医療用素材等の新たな素材**、**医療研究用実験動物など**、動物や植物等が有する**生物機能の高度利用**。



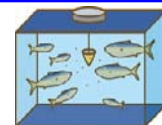
例：医療実験用ミニ豚

農林水産業の新たな事業機会の創出

農林水産物等の生産・流通・販売等の各工程において、革新的な技術を導入することにより、新たな事業機会を創出。

クロマグロ等の完全養殖

世界的需要を背景とし、天然資源の枯渇が懸念されるクロマグロ等の**完全養殖技術**。



農林水産物の高度生産管理システム

IT、LED等の人工光源、ロボット技術、ヒートポンプ等の「**工**」の技術を「**農**」に活用することで**周年計画生産を可能**とし、露地栽培や施設栽培の補完的な役割等を果たしうる**農林水産物の高度生産管理システム**。



超長期鮮度保持技術

高度な温度管理技術による青果物等の鮮度保持により、生鮮農林水産物の**需給バランスの安定化**、**物流網の効率化**、**輸出拡大**等に貢献しうる**超長期鮮度保持技術**。

